

# 平成27年度長崎大学教育学部附属小・中学校 教育研究発表会

## 研究主題

## 新たな価値を見いだす子どもの育成

～各教科等の本質を見据えた21世紀型の学びの追究～

## これからの時代に求められる学びを提案します

各教科等の深い内容理解を図りながら、「主体性」「論理的・批判的思考力」「メタ認知」といった21世紀を生き抜くために必要とされる汎用的資質・能力をはぐくむ授業を提案します。



小中連続して授業を公開します。

公開授業Ⅰ

小学校A

公開授業Ⅱ

小学校B

中学校A

公開授業Ⅲ

中学校B

小中連携した授業における具体的な手立てを提案します。

## 主体性



論理的・批判的思考力



メタ認知

## 教育講演会

### 演題

次世代の学びと評価を進めていくために



講師

益川弘如 先生

静岡大学大学院  
教育学研究科准教授  
同附属学習科学研究教育センター  
センター長

次世代の学びと評価を現場から発信していくためには、人はいかに学ぶかという理論に基づいて児童生徒の学びのデータを集めて評価、判断しつつ進めることが求められるでしょう。

資質・能力の育成が振る舞いだけのトレーニングに陥らず、真の学び力の育成につながる授業の姿について、共に創りあげていきたいと考えています。

期日：平成28年2月9日（火）・10日（水）

場 所：長崎大学教育学部附属小学校  
長崎大学教育学部附属中学校

後 援：長崎県教育委員会 長崎市教育委員会 長崎県教育会

# 第1日目 2月9日 (火)

算数科/数学科

理 科

外国語活動/外国語科

体育科/保健体育科

道 徳

総合/生活科

8:30 ∩ 9:00	9:00 ∩ 9:30		9:45 ∩ 9:55		10:10 ∩ 10:55		11:15 ∩ 12:00 (12:05)	12:05 ∩ 13:05	13:05 ∩ 13:55		14:10 ∩ 15:45
受付	開会行事 基調提案	移動	分科会A	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	昼食・移動	公開授業Ⅲ	移動	分科会B

**分科会A** 授業開始前に、各教科等の研究概要及び授業の視点を説明いたします（小中合同）。

**公開授業** 各教科等とも、小中の授業を連続して御覧いただけます。

公開授業Ⅰ <10:10~10:55>			公開授業Ⅱ <11:15~12:00(05)>			公開授業Ⅲ (13:05~13:55)		
教科等	学年	単元名	学年	単元名	学年	単元名	学年	単元名
算数科	小2	はこの形	小4	変わり方	中3	三平方の定理		
数学科	小6	割合を使って	中1	資料の散らばりと代表値				
理科	小5	ものの溶け方	小5・6	(小5)ものの溶け方 (小6)水溶液の性質	中2	火災対策サポートブックの作成		
			中1	身近な物理現象(光の規則性)				
外国語活動/外国語科	小5・6	What do you want to be?	中3	道案内をしよう	中2	賢い消費者になろう		
体育科/保健体育科	小4	ディスクゲーム	小6	タッチフットボール	中2	武道(柔道)		
道徳	小1	いのちを大事に(生命尊重)	小5	「天級」へ向けて(友情)	中2	「二通の手紙」(尊法精神)		
総合/生活科	小1	おもしろいね ひかりと かげ	小3	地域の高齢者と仲良くなろう	中3	卒業論文発表会をしよう		

**分科会B** 教科等研究協議を行います。（小中合同）

教科等	小学校	中学校	指導助言者
算数科 数学科	日常の事象における問題に算数を生かす喜びを感じる児童の育成 ～算数の「よさ」の実感へとつながる学習～	直面した問題を、数学を活用して解決する生徒の育成 ～数学的活動を通して、学びのつながりをつくる学習～	県教育庁義務教育課 指導主事 松尾美智子 先生 広島経済大学 教授 平岡 賢治 先生
理科	理科の学びと実生活のつながりを実感する児童の育成 ～妥当性を検討し、見方や考え方を活用する理科学習～	科学を活用する力を身に付けた生徒の育成 ～「活用課題」を核として、「つながり」をとらえ直す学習～	県教育庁義務教育課 指導主事 坂本 隆典 先生 長崎大学教育学部 教授 山路 裕昭 先生
外国語活動 外国語科	英語によるコミュニケーションの喜びを実感できる児童の育成 ～言葉のおもしろさや豊かさ気付く音声指導の工夫～	国際社会で生きる英語力の基礎を身に付けた生徒の育成 ～コミュニケーション力を育成する学習構造の工夫～	県教育庁義務教育課 指導主事 廣瀬 忠義 先生 長崎大学教育学部 教授 稲毛 逸郎 先生 長崎大学教育学部 教授 中村 典生 先生
体育科 保健体育科	運動に対する自信をもち、運動の楽しさや喜びを見いだす児童の育成 ～仲間とかかわり合いながら、運動がわかる・できる学習～	主体的に運動し、生涯にわたって運動に親しむ生徒の育成 ～運動の合理的な実践を通して技能を高める学習～	県教育庁体育保健課 指導主事 佐伯 直也 先生 長崎大学教育学部 准教授 高橋 浩二 先生
道徳	道徳的価値の理解を基に、自分の生き方を考える児童の育成 ～年間を通じた課題追求型学習の展開～	人間としての生き方を考え、自律的に行動する生徒の育成 ～多様な見方や考え方を共有する学習の展開～	県教育庁義務教育課 児童生徒支援室 指導主事 山本 圭介 先生 長崎大学教育学部 准教授 山岸賢一郎 先生
総合的な学習の時間	「ひと・もの・こと」とつながる力を身に付けた児童の育成 ～課題意識を重視した探究的な学習の展開～	主体的に探究する力を身に付けた生徒の育成 ～課題を明確にしながらか他者と解決に向かう学習～	県教育庁義務教育課 指導主事 坂口 洋介 先生 長崎大学教育学部 教授 佐々野好継 先生
生活科	対象へのかかわりについて考える児童の育成 ～学びの連続性を生かして、新たな活動につなげていく学習の展開～		県教育センター 指導主事 東原 宏章 先生 長崎大学教育学部 准教授 井手 弘人 先生

# 第2日目 2月10日 (水)

国語科 社会科 音楽科 特別活動

技術・家庭科

図画工作科/美術科

8:15 8:45	8:45 8:55		9:10 9:55		10:15 11:00 (11:05)		11:25 12:15	12:15 13:15	13:15 14:50		15:05 16:35	16:35 16:40
受付	分科会A	移動	公開授業IV	移動	公開授業V	移動	公開授業VI	昼食・移動	分科会B	移動	教育講演会	閉会行事

**分科会A** 授業開始前に、各教科等の研究概要及び授業の視点を説明いたします（小中合同）。

**公開授業** 各教科等とも、小中の授業を連続して御覧いただけます。

公開授業IV<9:10~9:55>			公開授業V<10:15~11:00(05)>			公開授業VI (11:25~12:15)		
教科等	学年	単元名	学年	単元名	学年	単元名	学年	単元名
国語科	小2	想像しながら読もう「スーホの白い馬」	小6	心に響く名言を集めて、日めくりカレンダーを作ろう「忘れられない言葉」	中1	よりよい未来にするために、今、私たちがすべきこと～シンポジウムを開こう～		
	小3・4	「ありの行列」「ウナギのなぞを追って」						
社会科	小5	情報化社会を生きる	小3	昔から伝わる行事	中3	よりよい社会をめざして		
			中1	世界の国々の調査				
音楽科	小1・2	おとをあわせてたのしもう「やまびこっこ」	小6	心をこめて歌おう「ふるさと」	中2	ハーモニーの美しさ「ふるさと」		
技術・家庭科			中3	幼児の生活と家族	中1	製作品の設計		
図画工作科/美術科	小1	さかせよう ころものはな	小3	〇〇を使って	中2	風景画の鑑賞		
特別活動	小2	パートナーに感謝を伝えよう	小4	「こえる1組」青空プロジェクト	中1	学校紹介のビデオを作製しよう		

**分科会B** 教科等研究協議を行います。（小中合同）

教科等	小学校	中学校	指導助言者
国語科	言葉を適切に用いて、思いや考えを伝え合う児童の育成 ～「知る」「比べる」「使う」のステップで、言葉磨きを行う学習～	言葉を駆使して、新たな発想や思考を創造する生徒の育成 ～対話によって、ものの見方や考え方の広がりや深まりを実感する学習を通して～	県教育庁義務教育課 指導主事 田上 顕二 先生 長崎大学教育学部 教授 勝俣 隆 先生
社会科	実社会と自分のつながりを語る児童の育成 ～「社会づくりの目」を育てる学習の展開～	主体的に社会を拓く生徒の育成 ～「合意形成」を核とした単元学習～	県教育庁義務教育課 係長 岡野 利男 先生 長崎大学教育学部 准教授 土肥大次郎 先生
音楽科	音楽に対する感性をはぐくみ、音楽のよさや美しさを感じ取る児童の育成 ～思いや意図を表現できる基礎的な能力を身に付ける学習～	音楽に対する感性を豊かにし、多様な音楽のよさを味わう生徒の育成 ～思いや意図を表現できる基礎的な能力を高める学習～	県教育庁義務教育課 指導主事 森山 浩一 先生 長崎大学教育学部 教授 福井 昭史 先生
技術・家庭科	家庭生活に役立つ力を身に付けた児童の育成 ～チャレンジ活動を取り入れ、家庭実践につなげる学習～	生活の自立を目指して、工夫し実践する生徒の育成 ～生活に必要な知識と技術を活用して課題の解決を図る学習～	県教育庁義務教育課 指導主事 江口佳也乃 先生 長崎大学教育学部 教授 赤崎 真弓 先生 長崎大学教育学部 教授 藤木 卓 先生
図画工作科 美術科	獲得した学びを表現に生かす児童の育成 ～学びのたくわえを大切に学習の展開～	新たな創造力を発揮する生徒の育成 ～「鑑賞」を通して、多様な価値観を理解していく学習～	県教育庁義務教育課 係長 稲古 伸一 先生 長崎大学教育学部 教授 中川 泰 先生
特別活動	自己や他者を生かす合い、生活をよりよくしようとする児童の育成 ～「意志決定」を基に、自己の高まりを活動に生かす学級活動～	「自己を生かす能力」を発揮できる生徒の育成 ～相互作用を促し、自他を高め合う特別活動～	県教育庁義務教育課 係長 加藤 盛彦 先生 長崎大学教育学部 教授 石部 邦昭 先生



# 第1日目 2月9日 (火)

算数科/数学科

理科

外国語活動/外国語科

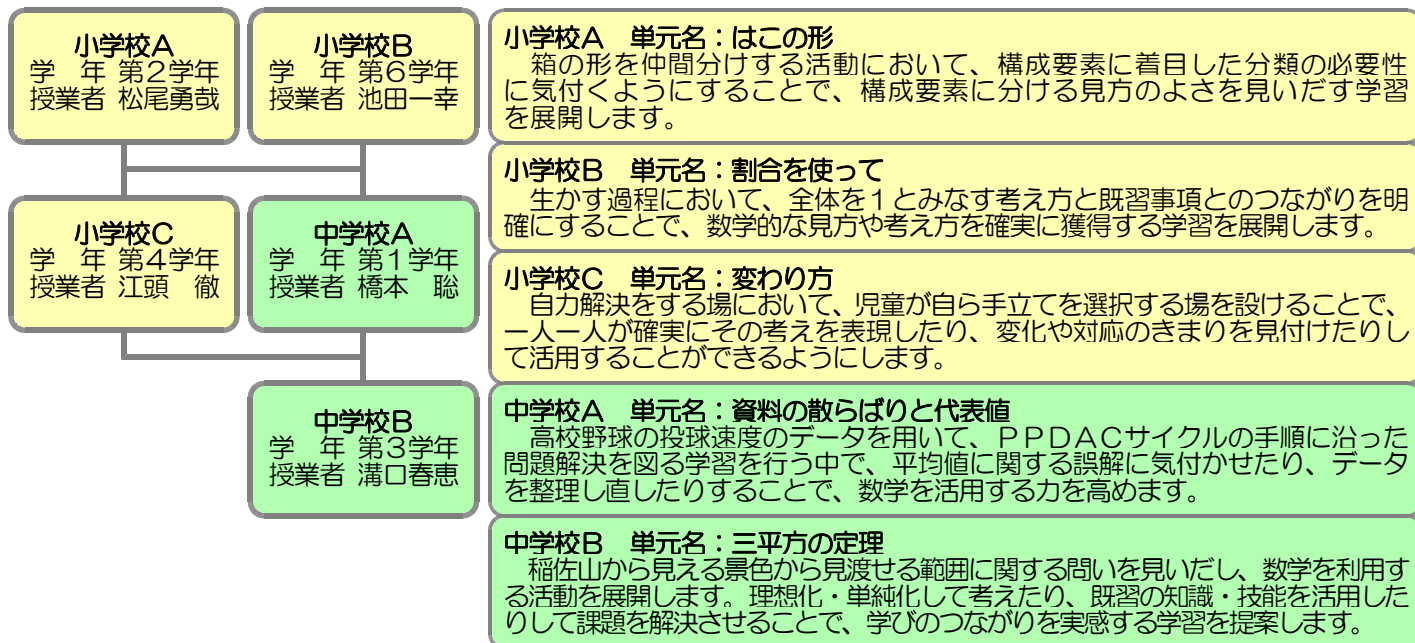
体育科/保健体育科

道徳

総合/生活科

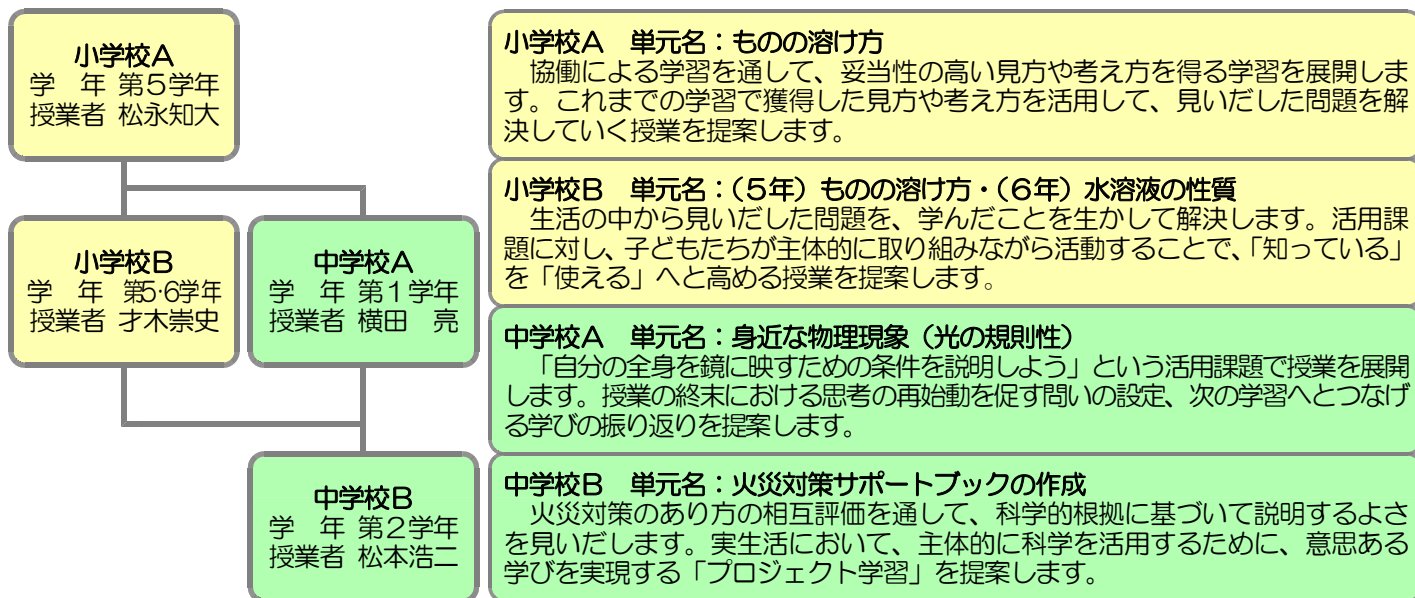
## 算数科/数学科

算数的活動や数学的活動の充実を図ります。小学校では、話し合い活動に重点をおき、「算数のよさ」を見いだす活動を提案します。中学校では、単元において、数学的活動の効果的な位置づけを図り、学びのつながりをつくることで、数学を活用する力を高めます。



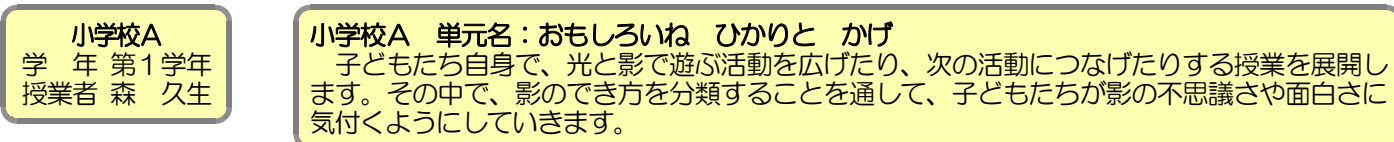
## 理科

科学を活用する力を高める学習を展開します。小学校では学びを活用することで生活を見つめ直し、中学校ではより質の高い活用課題に取り組むことで追究する力を高めます。テーマは「活用」と「協働」です。



## 生活科

対象とのかかわりについて考える児童の育成を目指し、学びの連続性を生かして、新たな活動につなげていく学習を展開していきます。そのために、振り返りを活用し、気付きを「比べる・分ける」ことで学びを再構成していきます。



## 外国語活動/外国語科

生きる英語を身に付けるために、小中共通の手立てとしてタスク活動を展開します。英語を使う必要感のあるコミュニケーション場面を設定することで、「伝えたい」「分かりたい」という意欲を引き出し、よりよい表現の工夫を図っていきます。

小学校A  
学年 第5・6学年  
授業者 岩永美和

小学校A 単元名：Lesson8 What do you want to be?  
台湾の友達と将来の夢を伝え合うというタスク活動で、ビデオレターを作成します。互いに分かり合うためには、どのように「英語」で表現すればいいのか、表現の工夫を通して、通じ合う喜びを実感できるようにしていきます。

中学校A  
学年 第3学年  
授業者 寺田あさみ

中学校A 単元名：道案内をしよう～情報を分かりやすく伝えよう～  
既知の知識と新たな知識の活用をゴールの姿とし、実際の公共交通機関の路線図を使って、「使える英語」技能を獲得するためのタスク活動（道案内）を提案します。

中学校B  
学年 第2学年  
授業者 松崎理恵

中学校B 単元名：賢い消費者になろう～商品を比較して購入しよう～  
コミュニケーションの中で言語習得を図ることを目指し、「比較表現」を有意味化するためのタスク活動を提案します。

## 体育科/保健体育科

児童・生徒の学び方の定着を図るために、小中共通の学習過程によって授業を展開します。この学習過程に応じた8つの手立てを講じることによって「協働による学習」の促進を図り、技能の確実な獲得を目指します。

小学校A  
学年 第4学年  
授業者 橋田晶拓

小学校A 単元名：ディスクゲーム（ゲーム）  
仲間とかかわりながら作戦をゲームに生かしたり、必要な感覚を身に付けながらゴール型ゲームの特性にふれたりさせながら、運動が「わかる」「できる」楽しさを味わう授業を展開します。

小学校B  
学年 第6学年  
授業者 高野友一

小学校B 単元名：タッチフットボール  
ゲームの客観的な分析結果を根拠に、チームの特徴に合った作戦を作り上げます。そして、その作戦の下、子ども一人一人が自分の課題の解決を図りながら、運動が「わかる」「できる」楽しさを味わう授業を展開します。

中学校A  
学年 第2学年  
授業者 溝上 元

中学校A 単元名：武道（柔道）  
基本となる投げ技を確実に身に付けるために、「崩し」「体さばき」「かけ」の一連の動きを繰り返し行わせる中で、課題となる点を的確に把握したり、教え合ったりしながら解決を図る「協働による学習」を提案します。

## 道徳

教科化へ向け、道徳の授業のあり方を提案します。道徳的諸価値の中から、年間を通して考えていく「大テーマ」を設定し、そのテーマについて、継続的かつ重点的に価値を追求していき、自己のよりよい生き方を見いだしていこうとする授業を展開します。

小学校A  
学年 第1学年  
授業者 高田 敦

小学校A 単元名：いのちを大せつに（生命尊重）  
年間の大テーマ「わたしはいのちを大せつにしているのだろうか。」という問題に対して、同テーマで学習した既習の道徳の学習やこれまでの学習後に実践したことを語りながら価値に迫っていき、よりよい生き方を考えていく授業を展開します。

小学校B  
学年 第5学年  
授業者 野口拓也

小学校B 単元名：「天級」へ向けて（友情）  
年間の大テーマ「今の子どもたちは友達を大切にしているのだろうか。」という問題に対して、これまでに考えてきたことや自分の経験を基に語り合うことで真の友情の姿を追求し、互いに尊重し合う人間関係を築いていこうとする心情を育てる授業を展開します。

中学校A  
学年 第2学年  
授業者 佐藤弘章

中学校A 単元名：「二通の手紙」（遵法精神）  
法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守ろうとする態度を育むために生徒の多様な見方や考え方を共有する授業を展開します。

## 総合的な学習の時間

他者に提案する活動を単元終末に設定することで、主体的な探究活動を展開します。また、毎時間の振り返りを学級全体で伝え合うことで、課題意識を共有し、仲間と協力しながら学習課題の解決を図ります。

小学校A  
学年 第3学年  
授業者 吉田公悦

小学校A 単元名：地域の高齢者と仲良くなろう  
「地域の高齢者の方ともっと仲良くなりたい」という課題意識をもち、よりよい交流をするために自分たちにできることを、友達や地域の方に提案します。

中学校A  
学年 第3学年  
授業者 山中典希

中学校A 単元名：卒業論文発表会をしよう  
共通テーマ「明日の日本人たちへ～よりよい社会を目指して～」の下、各自で作成した卒業論文を基にパネルディスカッションを行い、よりよい社会について、個々の考えを更に深めていきます。

# 第2日目 2月10日 (水)

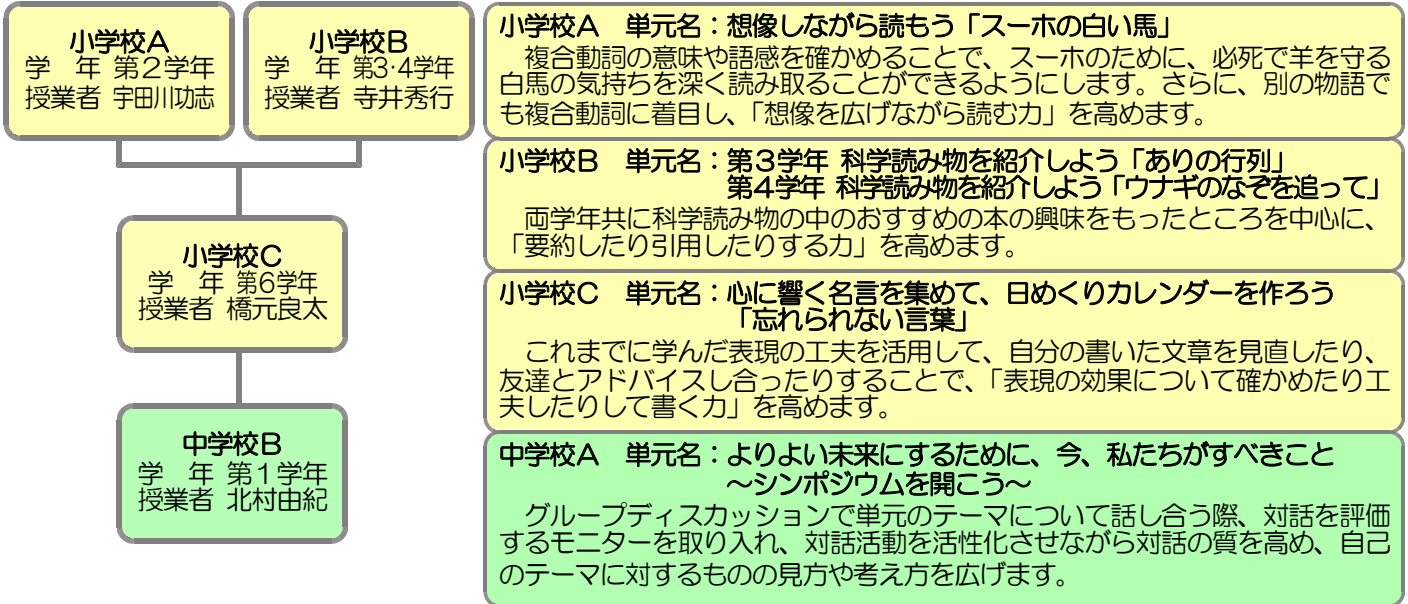
国語科 社会科 音楽科 特別活動

技術・家庭科

図画工作科/美術科

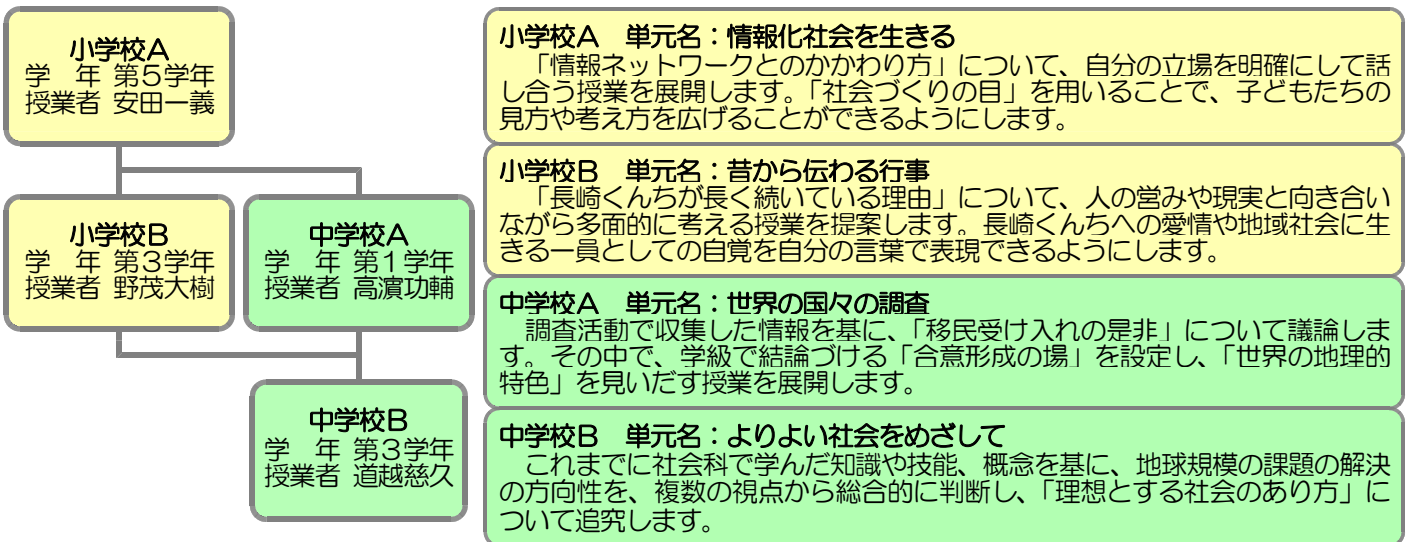
## 国語科

言葉を駆使しながら、新たな発想や思考を創造する子どもの育成を目指します。そのために、「自己内対話」や「他者との対話」によって思考を深めたり、比較・活用によって言語表現のよさを実感したりする学習を展開していきます。



## 社会科

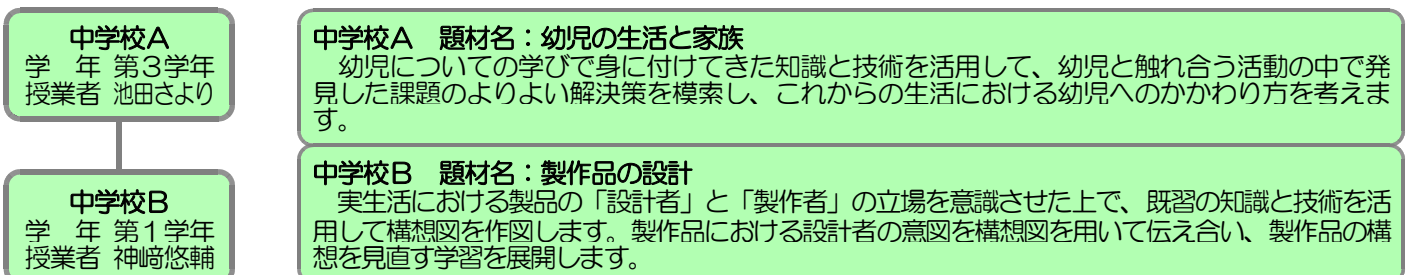
多面的・多角的な見方で社会的事象の本質を捉え、よりよい社会形成に主体的に参画していく子どもの育成を目指します。「問い」を位置付けた「単元学習の設計」に沿って、社会的な見方や考え方を広げていきます。



## 技術・家庭科

生活に直結する課題を提示して、題材の学習を通して身に付けた知識と技能（技術）を活用して課題の解決を図ります。また、学習と生活を結び付ける振り返りを行うことで、家庭や社会生活における実践への意欲を高めます。

\*本年度は、小学校の家庭科の授業公開はありません。





# 音楽科

児童・生徒が自己の思いや意図を表現できる授業を展開します。小中共通の取組として、技能系統表を基にした定着タイムを実施し、思いや意図の視覚化、共有化を図りながら、表現を高めていく子どもの育成を目指します。

小学校A  
学年 第1・2学年  
授業者 山口亮介

小学校A 題材名：おとをあわせてたのしもう 「やまびこっこ」  
定着タイムでの取組を生かしながら、「やまびこっこ」の曲の気分が伝わるような表現を目指します。聴き合いタイムを通して、自分たちの歌い方についての思いを明確にしなが、表現を高めていきます。

小学校B  
学年 第6学年  
授業者 内田ちひろ

小学校B 題材名：心をこめて歌おう 「ふるさと」  
定着タイム、児童の思いや意図に添った技能指導、聴き合いタイムを展開の中に位置付けることで、思いや意図を表現につなげる学びを追求します。「ふるさと」にふさわしい表現を工夫し、二部合唱できるようにします。

中学校A  
学年 第2学年  
授業者 力田和歌子

中学校A 題材名：ハーモニーの美しさ 「ふるさと」  
混声四部合唱における声部の役割と全体の響きとの関わりを理解させることで、曲の構成を生かした音楽表現の工夫ができるようにします。定着タイムを通して、自分の声と和声感を磨き、様々な場面で応用できる「合唱スキル」を身に付けたり、生かしたりすることができる授業を提案します。

# 図画工作科/美術科

児童・生徒が対象に主体的にかかわり、「みる」力を伸ばし、思いを表現することができる授業を展開します。感覚や技法などを言葉で記録し、それを手がかりに自分の思いにあった表現を探究していく子どもの育成を図ります。

小学校A  
学年 第1学年  
授業者 石司絵里

小学校A 題材名：さかせよう ころろのはな  
「図工ノート」や多数の参考作品から表現方法を選択し、形や色にこだわって思いを表現する学びを展開します。活動途中で視点をもった相互鑑賞を仕組むことで、自他の表現の工夫に気づき、より自分の思いにあった表現ができるようにしていきます。

小学校B  
学年 第3学年  
授業者 近藤雄太

小学校B 題材名：〇〇を使って  
題材の導入段階における「出会いの場」において、材料と十分にふれあう時間を保証するとともに、相互鑑賞の設定や参考作品の提示をすることで、材料の特徴をとらえ、新たなものの見方・考え方に気付くことができるような学びを展開します。

中学校A  
学年 第2学年  
授業者 堺 雅子

中学校A 題材名：風景画の鑑賞  
対話を通して美術作品のさまざまな解釈の可能性について考え、鑑賞を深めるとともに、作品を「みる」楽しさを共有していく授業を展開します。

# 特別活動

自他の思いや願いの実現に向け、自己を生かす能力を発揮できる子どもの育成を目指します。意志決定する場や相互作用を促す場の導入、系統性を意識した振り返りにより、自己の高まりを理解し、活動に生かすことができるようにします。

小学校A  
学年 第2学年  
授業者 拝崎拓郎

小学校A 活動題：学級活動 パートナーに感謝を伝えよう  
話し合い前に「しんゆうタイム」を設けることで、「話し合いに向けた意志決定」を意識して話し合うことができるようにします。また、話し合い後に「ペア→個人」での振り返りを行うことで、自他の高まりを見つめることができる学習を展開します。

小学校B  
学年 第4学年  
授業者 筑田佳代子

小学校B 活動題：学級活動 「こえる1組」青空プロジェクト  
活動全体の振り返りにおいて、全体やグループ・個人で、活動目的の達成について見つめる時間を設け、自己の高まりや課題、他者の変容に対する理解を深めます。そうすることで、振り返りを次の意志決定や活動づくりに生かすことができる学習を展開します。

中学校A  
学年 第1学年  
授業者 織田朱美

中学校A 活動題：学校紹介のビデオを作製しよう  
自らの体験を基に、中学校生活に対する新入生の不安を軽減するための学校紹介ビデオを作製します。活動目的の達成に向け、自他の役割の調整を図る場を取り入れた学習を展開します。

## アクセス

【長崎駅方面からの交通機関】（長崎駅から本校最寄りのバス停・電停まで約20分）

長崎県営バス…**昭和町行**・**女の都団地行**・**女の都入り口行**：昭和町バス停下車、徒歩5分

長崎バス…**三川行**・**西山台団地行**・**恵の丘行**・**長与ニュータウン行**・**川平住宅行**：文教町バス停下車、徒歩3分

市内電車…1、3番系統**赤迫行**：長崎大学前電停もしくは若葉町電停下車、徒歩10分

長崎県営バス（浦上経由）：昭和町バス停下車、徒歩5分

【長崎空港からの交通機関】（長崎空港～昭和町バス停 約45分）



### お申し込み先

- 研究会のお申し込みは、1月28日(木)までに、同封の参加申込書を附属小学校へFAXで送信していただくか、附属小学校のホームページから行ってください。当日の参加も受け付けております。

FAX 095-819-2273

URL : <http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/school/ele/>

### 連絡事項

- 参加費は、3,000円です。当日、受付で申し受けます。
- 紀要及び、学習指導案集は、当日、お渡しいたします。
- 業者販売の弁当がございますので、参加申込書に必要・不必要の記入をお願いします。
- 昼食会場は準備しております。
- 駐車場は、附属中学校グラウンドになります。
- 受付は、附属小学校玄関前になります。
- 附属小学校と附属中学校は通り抜けることが可能です。
- 本校は、敷地内禁煙ですので、あらかじめ御了解いただきますようお願いいたします。

### お問い合わせ

#### 長崎大学教育学部附属小学校

〒852-8131 長崎県長崎市文教町4番23号  
TEL 095-819-2271  
小学校担当者 主幹教諭 森内 秀学

#### 長崎大学教育学部附属中学校

〒852-8131 長崎県長崎市文教町4番23号  
TEL 095-819-2277  
中学校担当者 研究主任 鶴田 浩一